

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-84713

(43)公開日 平成9年(1997)3月31日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 7 K	3/22		A 4 7 K	3/22
A 6 1 H	9/00		A 6 1 H	9/00

審査請求 有 請求項の数1 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平8-70160

(22)出願日 平成8年(1996)3月26日

(31)優先権主張番号 1 9 9 5 P - 6 7 9 1

(32)優先日 1995年3月28日

(33)優先権主張国 韓国 (K R)

(31)優先権主張番号 1 9 9 6 P - 2 4 6 7

(32)優先日 1996年2月1日

(33)優先権主張国 韓国 (K R)

(71)出願人 596041179

洪 性赫

大韓民国富川市素沙区深谷本洞566-1

極東A P T 6 棟806号

(72)発明者 洪 性赫

大韓民国富川市素沙区深谷本洞566-1

極東A P T 6 棟806号

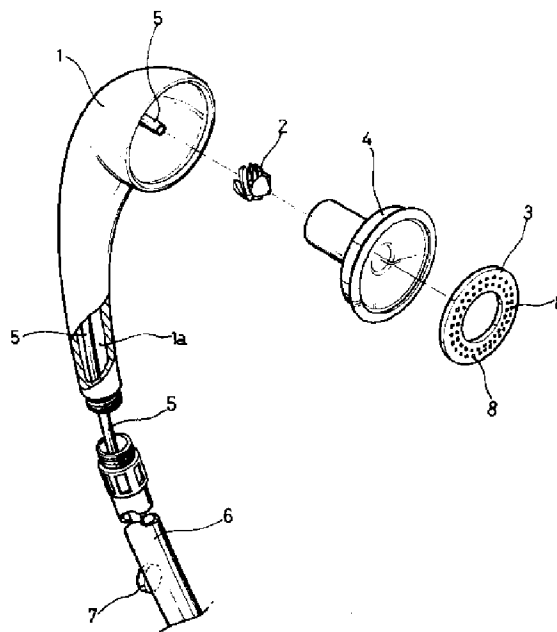
(74)代理人 弁理士 荒船 博司

(54)【発明の名称】 按摩機能を有するシャワー器

(57)【要約】

【課題】 シャワー及び按摩を並行し得るようにして、シャワーと按摩による健康増進の効果を期待し得るようにした按摩機能を有するシャワー器を提供することである。

【解決手段】 水流通路(1a)が内部に形成された取っ手(1)の先端に、中央には通孔(2a)が形成され内周面には多数の螺旋溝(2b)が形成された渦流器(2)が内部に設置され排出口側に噴出器(3)が設置される本体(4)を設置し、前記水流通路(1a)内には外部に連通される外気供給管(5)を渦流器(2)の中央の通孔(2a)に連結されるように設置してなる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】水流通路(1a)が内部に形成された取っ手(1)の先端に、中央には通孔(2a)が形成され内周面には多数の螺旋溝(2b)が形成された渦流器(2)が内部に設置され排出口側に噴出器(3)が設置される本体(4)を設置し、前記水流通路(1a)内には外部に連通される外気供給管(5)を渦流器(2)の中央の通孔(2a)に連結されるように設置してなったことを特徴とする按摩機能を有するシャワー器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は按摩機能を有するシャワー器に関するもので、より詳しくはシャワー及び按摩を並行し得るように、シャワー器内に渦流器を設置し、その中央通孔には外部に連通される別の外気流入管を設置し、シャワー器の使用時に排出される水が高速に回転し排出されるようにすることにより渦流を形成させるとともに、排出される水に酸素或はその他の微粒物質を人為的に含有させて、シャワーと按摩による健康増進の効果を期待し得るようにしたものに関する。

【0002】

【従来の技術】一般に、これまで使用されているシャワー器の場合は、供給される水が単にシャワーヘッドを通じて撒水されるようにして使用する程度のものであった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、近來沐浴文化の発達につれて、消費者の多様な欲求に従い、シャワー器が単に水を撒水する道具のみに限定されなく、シャワーとともに按摩までも可能なものが要求される実情であるが、これまでのシャワー器は単純なシャワー器としての機能のみを期待し得るばかり、前記の要求を満たすことができない問題点があった。

【0004】従って、本発明は前述したような従来のシャワー器が有する諸般問題点を鑑みてなされたもので、シャワー器本体に流入される所定圧力の水が渦流をなしながら噴出器を通じて高速に排出されるようにするとともに噴出器の中央には外部から酸素又はその他の微粒物質を人為的に供給することにより、シャワーとともに皮膚按摩及びマッサージ等による健康増進の効果を期待し得る、按摩機能を有するシャワー器を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】前記目的を達成するための本発明によるシャワー器は、水流通路が内部に形成された取っ手の先端に、中央には通孔が形成され内周面には多数の螺旋溝が形成された渦流器が内部に設置され排出口側に噴出器が設置される本体を設置し、前記水流通路内には外部に連通される外気供給管を渦流器の中央の通孔に連結されるように設置したものである。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明によるシャワー器を添付図面に基いて詳細に説明する。本発明による按摩機能を有するシャワー器は、水流通路1aが内部に形成された取っ手1の先端に、中央には通孔2aが形成され内周面には多数の螺旋溝2bが形成された渦流器2が内部に設置され排出口側に噴出器3が設置される本体4を設置し、前記水流通路1a内には外部に連通される外気供給管5を渦流器2の中央の通孔2aに連結されるように設置してなる。

【0007】図面で、未説明符号6は水を供給するために取っ手1の後端に連結される連結管、7は前記外気供給管5に流入される外気の流入量を調節するために前記連結管6の一侧に形成されたコルク、8は噴出器に多数形成される噴出孔をそれぞれ示す。

【0008】前記構成において、取っ手1の水流通路1a内に設置される外気供給管5は、水を供給するように取っ手1の後端に連結される連結管6の一侧に形成されたコルク7にその後端が連結されるように設置されるもので、前記コルク7のロック程度を調節して、渦流器2の中央の通孔2aに酸素等の外気が供給できるようになっている。

【0009】このように構成される本発明による按摩機能を有するシャワー器の実施作動状態及び作用を説明する。まず、バルブを開放すると、連結管6を通じて取っ手1内に流入される所定圧力の水は渦流器2の外周に形成された多数の螺旋溝2bを通過しながら回転することになる。この際に、回転により発生される遠心力により水は本体4の中央の排水口の表面に沿って回転しながら噴出器3の噴出孔8を通じて排出され、前記本体4の内部の中心空間には高速に回転し排出される水の回転速度により真空圧が発生する。

【0010】このように本体4の中央の排水口の表面に沿って回転しながら噴出器3を介して外部に排出される水の量は前記本体4を通過した水の全部でない一部であり、残りの水は噴出器3の内表面に沿って中心部位に集まることになる。従って、噴出器の中心に集まる水は真空圧により再度本体4の排水口に逆流され、この逆流された水は本体4の中央に設置された渦流器2の螺旋溝2bを通じて排出される水とともに再排出される。真空圧により逆流された水は渦流器2を介して排出される水の遠心力を減少させ、遠心力の減少された水は本体4の排水口の壁面に沿って流れなく、逆流される水と混合されながら渦流を形成し噴出器3の中央部を通じて排出される。

【0011】このように形成された渦流が噴出器3の中央部を通じて排出されると、渦流器2から前記噴出口を通じて排出される水は再び遠心力を回復することにより、噴出器3の中央部を通ずる排出が停止される。これは渦流が噴出器3の中央部に排出されることにより、そ

10

20

30

40

50

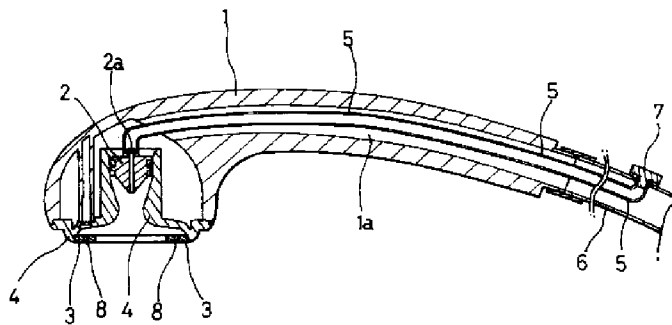
れ以上遠心力を妨害する水の流入がないためである。このような遠心力の回復はその中心で真空圧を再び形成させて渦流を排出させることになる。このように噴出器3の中央部への渦流の排出と中断が反復的に発生するとともに周囲の噴出孔8には水が連続的に排出される。

【0012】これにより、シャワー器の使用者が本発明の取っ手1の皮膚に対する距離調節のみでシャワー器又は水按摩器として簡便に選択して使用し得るものになる。即ち、図5Bに示すように、渦流と真空圧が皮膚に影響を及ぼす距離以内に前記噴出器3を接近させると、発生される渦流と真空圧による按摩器として使用でき、図5Aに示すように、渦流と真空圧の影響が及ばない距離で使用すると、噴出器3の噴出口8を通じて単に水を噴射するシャワー器として使用できる。

【0013】このように取っ手1の先端に設置された噴出器3を身体の皮膚に接近させると、噴出器3に形成された多数の噴出口8を通じて噴出される強い水流で皮膚表面を加圧するとともに噴出器3で発生される渦流及び真空圧とこの渦流及び真空圧による振動により皮膚に対して多様なマッサージを行うことになる。

【0014】又、前記渦流器2の中央には、流入される外気の量がコルクにより調節される外気供給管5が水流通路1a内に設置されているので、噴出器3を通じて噴出される水に酸素又はその他の微粒子物質を含有させることにより皮膚美容効果までも期待することができ、さらに前記渦流器2の材質を磁石又はセラミックス材とすると、発生される磁界又は遠赤外線が水とともに身体皮膚に作用することによる治療効果も期待することができる。

【図3】



【0015】

【発明の効果】以上の説明からわかるように、本発明の按摩機能を有するシャワー器によると、流路中央に外気供給が可能にした渦流器を設置して水に遠心力を与えてその流動速度を瞬間的に加速させることによる皮膚マッサージ効果を与えることにより、単純なシャワー器とともに高性能の按摩器として作用させる等の有用な効果を提供する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の斜視図である。

【図2】本発明の分解斜視図である。

【図3】本発明の組立状態の断面図である。

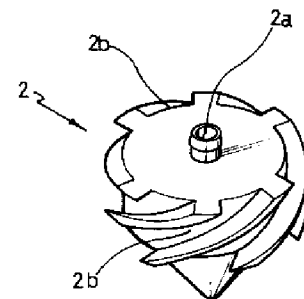
【図4】本発明の構成要部である渦流器の斜視図である。

【図5】〔A〕は単に水を噴射する場合の使用状態を示す一部拡大断面図であり、〔B〕は渦流と真空圧による按摩器として使用する場合の使用状態を示す一部拡大断面図である。

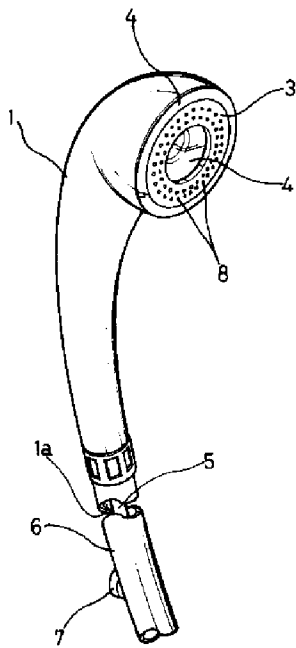
【符号の説明】

- 1 取っ手
- 1a 水流通路
- 2 渦流器
- 3 噴出器
- 4 本体
- 5 外気供給管
- 6 連結管
- 7 コルク
- 8 噴出孔

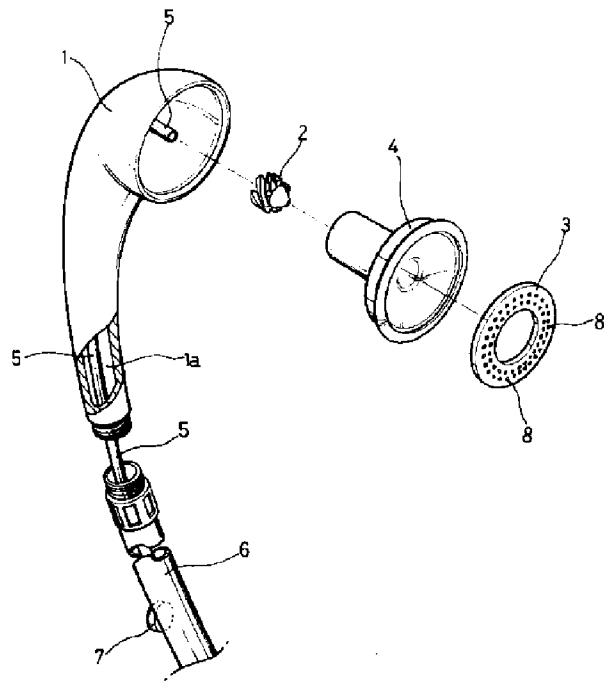
【図4】



【図1】



【図2】



【図5】

